

平成26年度 中部森林技術交流発表会 発表課題一覧表

第1日目 (1月28日)

発表部門	番号	課題名	所属	発表概要	開始時刻	
森林保全	1	北アルプス南部地域における中信森林管理署のニホンジカ対策について	中信署	ニホンジカの侵入・定着が危惧されている北アルプス南部地域においてカメラ調査を実施し、雄成獣2個体を撮影した。当該調査における取組の経緯から撮影に至るまでの経過を報告。	11:15	
	2	木曾駒ヶ岳における植生復元作業について	ふれセン 東京コンサルタンツ(株)	荒廃した高山植物の植生を復元するため、平成17年度から実施しているボランティア等による植生マット敷設作業とそのモニタリング調査についての経過報告。	11:30	
	3	ニホンジカ対策における薬剤防除の比較試験	技セン	現在中部局で使用している獣害対策用忌避剤は、テウラム塗布剤及びジラム水和剤で共に魚毒性がC類と高いことから、魚毒性がA類と低い全卵粉末水和剤を試験的に使用したのでその効果を報告する。	11:45	
	休憩 (12:00~13:00)					
	4	七宗国有林におけるニホンジカ対策	岐阜署	平成26年度から開始した七宗町獣害対策協議会、岐阜大学と連携した七宗国有林でのニホンジカ対策の活動報告。	13:00	
森林技術	5	金華山国有林における半寄生植物ツクバネの分布と地形要因	岐阜大学	金華山国有林を主な調査地として、踏査により半寄生植物の一種であるツクバネの分布をGPSにより記録し、地形要因との関係性についての検討結果の報告。	13:15	
	6	飛騨地域における民・国連携による森林・林業再生の取組み(仮称)	飛騨署 岐阜県	飛騨地域における民・国連携による森林整備を推進するために、各種取組みや協定後4年目となる森林共同施業団地での取組みと課題について考察する。	13:30	
	7	欧州型林業モデル林構築	たかやま 林業・建設業 協同組合	欧州型作業道(屋根型路盤及び素掘り側溝と横断暗渠工の組合せ)、将来木施業、トラクター式林業機械の導入と、生態系に配慮した排水設備施工を行い、高山市内に欧州型林業モデル林を構築したことこの報告と今後の林業展望について。	13:45	
	8	コンテナ苗植栽技術の開発・普及に向けた取組	中信署	コンテナ苗植栽技術の開発・普及に向けた取組として、新たにコンテナ苗植栽器具 を作成し植栽体験会を開くとともに、コンテナ苗と裸苗の生育比較試験を実施した報告。	14:00	
	9	ヒノキ・コンテナ苗の植栽工期に及ぼす傾斜の影響および初期成長	岐阜県 技セン	コンテナ苗による省力造林の可能性を検討するため、岐阜県下呂市で傾斜別にヒノキ・コンテナ苗と造林用普通苗の植栽工期、初期成長、生存率を比較した事例報告。	14:15	
	10	林業の労働災害は何故起こるのか？ — 事業体の災害分析からの提言 —	岐阜県立 森林文化 アカデミー	林業は他の産業と比べて、労働災害の多い産業である。複数の林業事業体にスポットを当て、労働災害の起こる要因を解析し、どのような安全管理が必要かを検討した。	14:30	
11	中規模森林所有者が行う立木の在庫管理	岐阜県立 森林文化 アカデミー	これからの林業では需要側の目線を取り入れた在庫管理が必要であると考え、静岡県林業事業体「ふもとつばら」を題材に、どのように在庫管理を展開していけば良いかを検討する。	14:45		
休憩 (15:00~15:15)						
森林ふれあい	12	よりよいパートナーを目指して	名古屋 林業土木協会	建設業を営む者の団体がフォレスト・サポーターズ活動などを通じ地域の振興に寄与するとともに、取り組みの広報等を通じ建設業のイメージアップを目指した活動の報告。	15:15	
森林技術	13	岐阜・愛知・富山県のスギ高齢人工林の林分構造	岐阜県立 森林文化 アカデミー 技セン	スギ高齢人工林35箇所を調査した。林齢・本数密度・胸高直径・樹高・樹冠長・樹冠幅の相互関係から、この地方のスギ高齢林の特質を明らかにする。	15:30	
	14	老齢木曾ヒノキ天然生林における林冠木の生長に及ぼすサイズ・空間構造の影響	信州大学	樹木の空間分布と個体間競争の効果が老齢木曾ヒノキの成長にどの程度寄与しているのかを検証し、特に伊勢湾台風、第二室戸台風後の木曾ヒノキの成長プロセスについて一考する。	15:45	
	15	複層林の上木伐採における下層木への影響調査について — 舞台峠国有林のヘリコプター集材における事例 —	技セン	複層林の上木伐採における下層木への影響については、地形、集材の形態など様々な因子により異なり、その報告事例も少ないことから、直近のヘリコプター集材事例を報告する。	16:00	
	16	漸伐作業の終伐における伐出について	信州大学	漸伐作業の終伐において、高性能林業機械を導入した伐出作業に関する事例報告。	16:15	
	17	木曾地域における先進的林業機械導入への取組	木曾署 木曾 森林組合	平成24年度「先進的林業機械緊急実証・普及事業」を活用したスタビライザー機能付きフェラパンチャの導入の経緯及び活用の事例、従来作業システムとの比較検証結果の報告。	16:30	
講評・表彰等 (16:45~)						

第2日目（1月29日）

発表部門	番号	課題名	発表概要		開始時刻
森林技術	18	トータルコスト削減への挑戦！ ～伐・造一貫作業システムin愛知～	愛知所	先進的的林業機械による伐・造一貫作業システムの実行により、トータルコストの削減について検証し、地域林業への情報発信に取り組んだ結果の中間報告。	10:00
	19	主索ウインチ付きスイングヤーダと繊維ロープ導入による索張り距離の延長と集材作業の安全化・効率化	新城森林組合	先進的的林業機械緊急実証・普及事業で開発した、主索ウインチ付きスイングヤーダを使い、集材作業の安全化と効率化を図りつつ、労働者の身体的負担の軽減を図るものです。	10:15
	20	伐採・造林一貫作業システムにおける繊維ロープとタワー接地型スイングヤーダ適用の可能性	名古屋大学	伐出作業における労働負荷の軽減と生産性向上のため繊維ロープの使用とタワー付きスイングヤーダによる集材作業とワイヤーロープを使用したスイングヤーダによる作業と比較。	10:30
	21	民国連携による緊急災害時の復旧対策 (蕨野沢災害関連緊急治山工事の事例)	北信署	国有林から民有林にかけて発生した土石流災害の復旧にあたって、民・国が連携して災害復旧事業に取り組んだ事例の報告。	10:45
	22	カラマツ製治山施設の劣化調査の結果	長野県林業総合センター	長野県内のカラマツを主とする民有林・国有林内の木製治山施設について、腐朽や摩耗による劣化の状況調査を行った。その結果について報告する。	11:00
	23	中川地区民有林直轄治山事業の概成	伊那谷治山	開設から半世紀にわたり荒廃した山地の復旧治山工事を実施してきた中川地区民有林直轄治山事業の歩みと、工法等の技術開発や改良、経過と実施状況をまとめました。	11:15
森林ふれあい	24	遊々の森の活動を振り返って ～「多摩市民の森・フレンドツリー」	南信署 多摩市立八ヶ岳少年自然の家	南信森林管理署と東京都多摩市とで遊々の森協定を締結し、多摩市の小学生等に体験林業の場を提供してきた。今年度その活動が評価され、「間伐・間伐材利用コンクール 間伐実践・環境教育部門」において林野庁長官賞を受賞したことから、これまでの活動を報告する。	11:30
	25	竹林間伐材の有効利用 ～新たな竹製品の開発～	愛知県立田口高校	竹林の整備を目的に、新たな竹の使用法を考案し「底面給水竹」を製作しました。また、製造過程での廃棄物も有効に利用し、環境に配慮した製品となっています。	11:45
休憩（12:00～13:00）					
森林技術	26	安定した森林を目指して ～スイスフォレスターに学ぶ、環境的にも経済的にも持続可能な森林づくり～	岐阜県立飛騨高山高校	スイスフォレスターから学んだ、育成木施業を取り入れ、環境面と経済面の観点から50年後の演習林を創造した方法の取り組み。	13:00
	27	地すべりを知る ～減災に向けた防災教育の提言～	長野県林業大学校	減災には、土砂災害の知識が不可欠である。そこで長野県と新潟県の地すべり概要をまとめるとともに市町村レベルの防災体制を明らかにして、災害への関心を高める提案をしたい。	13:15
森林ふれあい	28	木育に対するマネジメント的考察 ～企業でも可能な木育とは～	長野県林業大学校	現在の木育はNPO法人や行政が主体であることが多く、企業が主体のところは少ない。では、どのようにしたら企業でも木育が可能になるのか、新しい木育の形について考察し提案する。	13:30
	29	「信州 山の日」の取組みについて	長野県	平成26年に制定された「信州 山の日」の制定趣旨や「信州の山 新世紀元年」の取組みについて報告。	13:45
講評・審査結果・表彰等（14:00～）					